

令和 5 年度
(2023 年度)
事業報告書

社会福祉法人わらしな福社会

目 次

	＜ページ＞
■ ＜総論＞令和 4 年度を振り返って.....	1
■ 職種別職員数	2
■ 主な行事実績	3
■ 事業及び区分別報告	
1. 法人	
✚ 役員会実績	4～5
2. 特養／ショートステイ	
✚ 「ケア」についての振り返り.....	6
✚ 「医務」からの振り返り	6
✚ 「食」についての振り返り	7
✚ 年間行事実績	8
✚ 入所者に関する統計等	
① 日課	9
② 年間行事食メニュー	〃
③ 入/退所数	10
④ 入/退所者経路	〃
⑤ 入所前の生活	〃
⑥ 代理人区分	〃
⑦ 疾病及び痴呆	11
⑧ 入院の状況	〃
⑨ 受診の状況	12
⑩ 平均介護度	13
⑪ 食事形態	〃
✚ 事業実績	14
3. りんどうデイサービスセンター	
✚ 概略	15～17
✚ 事業実績	18
4. 居宅介護支援事業所 コスモス	
✚ 概略	19
5. 居宅介護支援事業所 りんどう	
✚ 概略	20
6. 居宅介護支援事業所 りんどう 羽鳥	
✚ 概略	20

7. ワークセンターりんどう		
 就労支援A型		21～24
 就労支援B型		25～28
8. 会議・委員会		
 概略及び開催状況		29
9. 職員研修（研修管理室）		
 概略及び実施状況		30～34
10. 防災		
 概略		35
11. 地域との取り組み		
 概略		35
12. 広報・採用活動		
 概略		36～37

コロナ感染に関しては、第8波により7月に27名、8月下旬から9月中旬にかけ46名、計73名の入所者、職員、33名が感染致しました。

コロナ禍も3年に及び、「りんどう」における コロナ対策の経験値も高まり、各々職員の初動及び迅速な対応が為された一方、5類になったことで、コロナ禍の初期に比べれば、深刻さや緊張感といった意識が薄れつつあり、当事業所においても逼迫感が欠けていたことも否めません。

感染により症状が重篤化するには、及びませんでしたでしたが、感染力は強く、多くの入所者様に感染が至ってしまったことは、今後の感染対策の課題及び、強化につなげたいと反省するところです。

それを踏まえ、BCP 計画においては、反省・検証を行い、計画上の変更等を毎月の会議で検討し、常に実践できるよう継続して取り組んでおります。

本年度は、『自立』という目標（テーマ）を掲げてまいりました。各職員が主体性をもって、それぞれの職種及び職責を全うすることを目的としておりました。ことある毎に、このテーマを呼称することで、人を頼ったり、出来ない理由の御託を並べたりするのではなく、自己解決・完結しようとする努力、風土が少しずつ根付き、成長してきていると感じております。

各事業運営については…

「特養」は、月々によって増減はあったものの、平均入院数が昨年度に比べ少なかったこともあり、2.6人／日（昨年度3.7人／日）目標の97.5%を達成することが出来ました。

その一方で、「ショート」「デイ」は、第8波コロナ感染の影響を受けました。ショートにおいては、予約の取り消し等空きベッドを埋めることが出来ませんでした。

- ・特養：97.28%（97.5%）、 ・ショート：80.21%（90.0%） ※（ ）は目標数値
- ・デイ：14.0人／日（16.5人／日）

「居宅支援事業所」においては、ケアマネ1人当たりが担当できる件数のほぼMAXに近い件数を抱えてのサービス提供を行いました。

「障がい者就労支援」においては、ほぼ昨年度同様の稼働ができました。

- ・ワークセンターA：13人（昨年度13人） ・ワークセンターB：13.7人（昨年度13.1人） ※ 月間平均登録件数

又、B型利用者への工賃は、1人当たり平均37,078円（昨年度28,628円／月）（令和4年 全国平均 17,031円／月）が達成できています。

次年度においては、「りんどう」長期並びにショートにおける空きベッド調整を円滑に行い、デイにおいては、山間地の特色を活かし、ご利用者様に満足して頂けるサービス提供の向上を図り、目標稼働率を保持したいと考えているところです。

広報活動においては、引き続き「りんどう」の様子をホームページやFacebook、Instagramにて積極的に対外的発信し、その結果として、利用に関する件や求職者からのお問い合わせを多く受け、「りんどう」を広く知って頂いていると感じています。

『自立』を目標に掲げ、コロナ禍を乗り越えてきた知恵や行動力、協同・協働する力は、各々職員に対しても、法人全体としても、成長を促したと考えます。『更なる自立』を次年度の目標として、なお一層の発展・成長を図っていきたい所存です。

職種別職員数（短時間労働および派遣を含む）

職種別 職員構成

職 名	人数	正職員		パート(非常勤)		派遣		備考	割合
		男	女	男	女	男	女		
施設長	1	1							6.5%
副施設長	1				1				
事務長	1	1							
事務員	6	4		2					
介護支援専門員（施設）	3	2		兼務(1)				※内 宿直兼務(1)	2.0%
〃（居宅）	5	2	2		1				3.3%
生活相談員	5	4	1					内 デイサービス (1)	3.3%
嘱託医師	1								
看護師	2		1		1				1.3%
看護職員	8	1	3		4			内 デイサービス (1)	5.2%
機能訓練指導員	3	2		1					2.0%
介護長	2	1	1						1.3%
介護職員	80	19	36	3	22			内 デイサービス (正1、パ3) 内 特定技能 (8) 内 介護福祉士54名	52.3%
介護補助員	3				3				2.0%
管理栄養士	2		1		1				1.3%
調理員	10	5	2	1	2				6.5%
営繕	1	1							0.7%
宿直	2			2				※内 ケアマネ兼務(1)	1.3%
サービス管理責任者	1	1						※ワークセンター	3.9%
生活支援員	1				1			※ワークセンター	
職業指導員	4	2	2					※ワークセンター	
（就労支援 A 型契約者）	12			8	4			※ワークセンター	7.8%
計	153	46	49	17	40				

単位：(人)

令和 6年 3月31日現在

職員統計（正・パ、男・女 割合）

	男		女		小計 (人)
	(人)	(%)	(人)	(%)	
正職員	46	30.1%	49	32.0%	95
パート	9	5.9%	36	23.5%	45
派遣	0	0.0%	0	0.0%	0
嘱託医	1		0		1
ワークA	8	5.2%	4	2.6%	12
計	64	41.8%	89	58.2%	153

令和 6年 3月31日現在の統計

職員統計（平均勤続年数、平均年齢）

	平均勤続年数(年)			平均年齢(歳)		
	男	女	総合	男	女	総合
正職員	11.4	11.7	11.6	46.7	46.8	46.8
パート	13.5	11.9	12.7	68.6	58.7	63.7
総合	12.5	11.8	12.1	57.7	52.8	55.2

※ ワークA支援対象者は含まない

令和 6年 3月31日現在の統計

正職員・パート 年代別分布割合

区分		単位	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	小計
男	正職	(人)	3	9	13	18	3	0	46
		(%)	2.1%	6.4%	9.3%	12.9%	2.1%	0.0%	32.9%
	パート	(人)	0	0	0	1	4	4	9
		(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	2.9%	2.9%	6.4%
	総合	(人)	3	9	13	19	7	4	55
		(%)	2.1%	6.4%	9.3%	13.6%	5.0%	2.9%	39.3%
女	正職	(人)	9	6	8	17	9	0	49
		(%)	6.4%	4.3%	5.7%	12.1%	6.4%	0.0%	35.0%
	パート	(人)	1	2	8	4	12	9	36
		(%)	0.7%	1.4%	5.7%	2.9%	8.6%	6.4%	25.7%
	総合	(人)	10	8	16	21	21	9	85
		(%)	7.1%	5.7%	11.4%	15.0%	15.0%	6.4%	60.7%
総合		(人)	13	17	29	40	28	13	140
		(%)	9.3%	12.1%	20.7%	28.6%	20.0%	9.3%	100.0%

令和 6年 3月31日現在の統計（ワークA支援対象者、派遣、嘱託医を除く）

■ 主な出来事 実績（法人・施設）

月	適 応	備 考
4	28 日 職員健康診断（全員）	
5	20 日 監事監査	
6	3 日 第 1 回 理事会 18 日 定時評議員会・第 2 回 理事会	令和 4 年度事業報告及び決算
7		
8	25 日 夏祭り（4F）	
9	21 日 苦情・要望について第三者委員への報告会 26 日 敬老会	
10	5 日 静岡市 指導監査 25 日 防災訓練	
11	10 日 職員健康診断（深夜業務を伴う職員） 30 日 入所者健康診断	
12	9 日 監事監査	
1	20 日 第 3 回 理事会	第 1 回 補正予算
2	3 日 第 1 回 臨時評議員会	
3	20 日 第 4 回 理事会 30 日 第 2 回 臨時評議員会	第 2 回 補正予算 令和 5 年度 事業計画・収支予算

■ 事業別（区分別）報告

1. 法人 役員会開催実績

・ 決算 監事監査の開催

日時 : 令和 5 年 5 月 20 日（土）午前 10 : 00

場所 : 社会福祉法人 わらしな福祉会 りんどう介護者教育室

・ 第 1 回 理事会の開催（理事 5 名、監事 1 名）

日時 : 令和 5 年 6 月 3 日（土）午前 10 : 00

場所 : 社会福祉法人 わらしな福祉会 りんどう介護者教育室

内容 : ① 令和 4 年度事業報告、及び決算

② 次期 理事・監事の選定

③ 定時評議員会の開催

（報告事項）理事長・業務執行理事の職務執行状況

・ 定時評議員会の開催（評議員 6 名、理事 3 名、監事 2 名）

日時 : 令和 5 年 6 月 18 日（日）午前 10 : 00

場所 : 社会福祉法人 わらしな福祉会 りんどう介護者教育室

内容 : ① 令和 4 年度 事業報告、及び決算の選任

② 次期 「理事・監事」の承認

・ 第 2 回 理事会の開催（理事 3 名、監事 2 名）

日時 : 令和 5 年 6 月 18 日（日）午前 11 : 00

場所 : 社会福祉法人 わらしな福祉会 りんどう介護者教育室

内容 : ① 理事長、業務執行理事の互選

・ 上半期 監事監査

日時 : 令和 5 年 12 月 9 日（土）午前 10 : 00

場所 : 社会福祉法人 わらしな福祉会 りんどう介護者教育室

・ 第 3 回 理事会の開催（理事 5 名、監事 2 名）

日時 : 令和 6 年 1 月 20 日（土）

場所 : 社会福祉法人 わらしな福祉会 りんどう介護者教育室

内容 : ① 令和 5 年度 第 1 回補正予算

② 定款細則 別表の一部改正

③ 第 1 回 臨時評議員会開催

（報告事項）理事長・業務執行理事の職務執行状況

・ 第 1 回 臨時 評議員会の開催（評議員 7 名、理事 3 名、監事 1 名）

日時 : 令和 6 年 2 月 3 日（土）

場所 : 社会福祉法人 わらしな福祉会 りんどう介護者教育室

内容 : ① 令和 5 年度 第 1 回補正予算

- ・ **第4回 理事会の開催**（理事6名、監事1名）
 - 日時：令和6年3月20日（水）午前10：00
 - 場所：社会福祉法人 わらしな福祉会 りんどう介護者教育室
 - 内容：① 令和5年度 第2回補正予算
② 令和6年度 事業計画及び収支予算書
③ 第2回 臨時評議員会の開催
（報告事項）理事長・業務執行理事の職務執行状況

- ・ **第2回 臨時 評議員会の開催**（評議員6名、理事3名、監事1名）
 - 日時：令和6年3月30日（土）午前10：00
 - 場所：社会福祉法人 わらしな福祉会 りんどう介護者教育室
 - 内容：① 令和5年度 第2回 補正予算
② 令和6年度 事業計画及び収支予算書

2. 特養／ショートステイ りんどう

———— 「ケア」について の振り返り ————

人材育成においては、「指導」における反省点が多々あります。

指導する立場の職員が指導に対して、計画的かつ体系的に実施することが出来ず、場当たりの指導状況が多くみられたこと。

指導者の経験や勘の蓄積による指導となり、標準化されていないことで、指導を受ける職員を混乱させてしまうケースが見受けられたこと。

指導者が、高い実践能力を有しているにも係わらず、先んじるべき、心構えをきちんと教えられていないこと。

人材育成について、次年度については、『理念』に基づき、また基本に立ち返り、人材育成の目的・目標及び理想の状態とギャップの整理。必要な人材像や課題解決のための具体化の考案。を、5年度の振り返り（反省）から図っていきたいと考えます。

施設にマッチした人材を育て組織力の強化に繋げていけたらと思います。

BCP 対策については、コロナ感染を通じて、会議等で検証繰り返し、精度を高めています。計画だけでなく、全職員が実践できなくては、計画の意味がありません。

利用者の安全と継続的なケアを保障する責務に対して、緊急事態においても事業を円滑に運営し続け、結果的に利用者と御家族に安心を提供できるよう取り組んでいきたいと思えます。

———— 「医務」からの振り返り ————

- ① 利用者様の健康管理について、医務職員の担当がお一人お一人の状態を良く把握し、又医務職員間で情報が共有でき、対応できたと考える。
- ② 感染防止において、新型コロナウイルス・インフルエンザの施設感染の経験から、課題を整理し、感染予防対応の継続及び、今後の対応について強化を図っていききたい。
- ③ 入所者が重度化する中、吸引行為が増えているが、医務職員間の協働で対応できた。
- ④ 早目の受診対応ができた。
- ⑤ 新規入所者受入れに対する面接情報に対して医務観点からの確認事項も検討会で伝え、多職種との連携が図ることができた。
- ⑥ 医務職員の協働、チーム力向上を一層強化していききたい。

■ 「普段の生活を彩る食事の提供」

- ・ 四季に合った食材を使用し、盛り付けも“丁寧”“綺麗”“強調”の意識づけ継続。行事食の際は調理師の方から「こうした方がいいのでは？」などの提案も出てくるようになり、より盛り付けを意識するようになった。
- ・ 夏場刺身の提供中止しているなか、寿司のバリエーションとして肉ちらし、サラダちらしを提供。
- ・ 盛り付けひとつ変えるだけでも与える雰囲気や印象変わるため、常に変化を意識してメニュー提供していく。
- ・ おやつも大量調理が出来るようなものであれば積極的に新メニューとして提供。
(信玄餅風揚げ芋やすいかの2色ゼリーなど)
利用者の嗜好に合わせられるよう改善変量行いながら新規開拓していく。
- ・ 令和6年はオリンピック開催の年のため、以前試みた世界の料理を再度提供していきたい。

■ 低栄養の改善

- ・ 毎月測定する体重の数値をもとに、多職種と利用者個人に対する対応策を練ることができた。
最後まで「口から食べる」ことが出来るよう、嚥下食や流動食も種類を揃えて支援できる体制を今後も整えていく。また、本人に適した食事提供方法を随時検討していく。
これからも低栄養の方、褥瘡が改善⇔悪化と繰り返している方への栄養状態の把握や適した流動食選定などを早期対応できるよう、周囲からの情報収集に努めていく。

■ 食中毒の防止と衛生管理の徹底

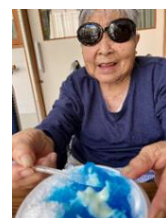
- ・ 異物混入防止のため、器具や設備の不良個所の早期修理依頼実施。
- ・ 一斉清掃の日を作り、重点的に行う掃除場所を決めて取り掛かった。
だが、実施回数にムラがあるため、もっと定期的に効率よく行えるよう調整していく。
配膳車も、特に夏場の湿度の高い日が続く際は特にこまめな清掃を行っていく。
- ・ 塩素系とアルコール系の消毒剤を使用するの器具の消毒・手指のこまめな洗浄と消毒。各々職員が健康管理を徹底し、感染症を“持ち込まない”・“拡げない”よう努めた。

■ 非常時の対応

- ・ 災害時に使用する備蓄食や水の管理を徹底する。
(賞味期限が近い物を把握し、随時使用・再発注していく)

令和 5 年度 行事实績

月	行 事 名
4月	桜の花見: 施設駐車場にて花見をする。(3月末実施)
5月	端午の節句(菖蒲の湯): 菖蒲をお風呂に入れ利用者に入浴を楽しんで頂く。 母の日: 女性利用者へメッセージカードを作成し、職員がプレゼントし、花を飾る。 新茶祭り: 新茶と和菓子で季節を感じて頂く。 料理教室
6月	父の日: お花のプレゼント、お菓子作りなどを楽しむ 料理教室
7月	七夕祭り: 笹に飾り付けを行い、願い事を1人1人飾る。 氷屋
8月	夏祭り(4F ホールにて開催)
9月	敬老会: 「琉神」によるパフォーマンス
10月	コスモス畑 鑑賞 バーベキュー大会(駐車場にて)
11月	英和女学院 慰問 施設防災訓練: 避難通路手順確認、入所者健康診断
12月	クリスマス会 雙葉学園 慰問
1月	餅つき: 正月気分を味わって頂く。
2月	節分: 職員が鬼の格好をして利用者に豆を投げていただきました
3月	雛祭り: 苺スイーツ バイキングを楽しむ



入所者に関する統計等

① 日課

各々の生活スタイルにあった（24時間シート）にて実施

② 年間行事食メニュー

	行 事	献 立
4月(3月)	桜の花見	静岡祭りイメージ【ベビーカステラ・フランクフルト・焼きそば・飲料】
5月	端午の節句	ちまき / 柏餅(+柏餅練り切り・柏餅風プリン)
	母の日	サラダ太巻き / プリンアラモード
	新茶祭り	茶飯 茶そば 桜えびかき揚げ 抹茶ゼリー / 新茶 抹茶 和菓子
6月	父の日	かつ煮 / どらやき
7月	七夕	そうめん 天ぷら盛合せ(夏) / セタゼリー
	海の日	冷やし中華 / シュークリーム
	土用の丑	うなぎの蒲焼
8月	夏祭り	枝豆&焼き鳥 うどん(温・冷) ドリンクバー 人形焼アイス添え お好み焼き カップクレープ
	山の日	山菜おこわ / もみじまんじゅう
9月	海鮮バーベキュー	海鮮焼【帆立・ハマグリ・イカ・タコ・はんぺんフライ・さんま】 ワッフル 苺コンポート&バニラアイス添え
	敬老の日	赤飯 金目鯛の煮付 なます / 紅白まんじゅう
	お彼岸	おはぎ
	お月見	月見きんぴら / お月見団子
11月	味覚祭	焼き芋 牛カルビ焼 焼き鳥 芋煮 鮭の炊き込み御飯 ホットケーキ 練りきり
	七五三	栗ご飯 / エクレア
12月	冬至	かぼちゃのそぼろ物 / かぼちゃのパパロア
	クリスマス・イヴ	カラフルハンバーグ / 和菓子(クリスマス) / 鱈の豆乳鍋風煮
	クリスマス	ちらし寿司(クリスマス) / クリスマスケーキ / ビーフシチュー 3色テリーヌ
	大晦日	すき焼き風煮 / 年越しそば(天ぷら盛合せ)
1月	正月	赤飯 おせち料理 雑煮 寿司 甘酒 etc
	新年の餅つき	お汁粉 きな粉餅 磯辺餅
	七草粥	七草粥
	成人の日	助六寿司 / どら焼き
2月	節分	恵方巻き(太巻き) / 赤鬼まんじゅう / 福豆汁
	バレンタイン	オムライス(ハート) / チョコレートケーキ
3月	ひな祭り	えびちらし寿司 紅白ゼリー / 甘酒
		ひな祭り苺バイキング...苺のショートケーキ 苺ババロア 苺大福 苺ロールケーキ 苺レアチーズケーキ 苺大皿盛 コーヒー・紅茶
	ホワイトデー	春野菜のスパゲティ / ハートまんじゅう
	お彼岸	ぼたもち

※随時、棟ごと誕生日行事(ケーキ)、バイキング実施

③ 月別 入/退所数 (単位：人) ※令和6年3月31日現在

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月間入居者数		1	6	6	3	3	4	1	5	2	2	6	4	43
月間退去者数		2	7	2	5	3	5	1	5	3	3	5	5	46
入居	男	1	2	4	0	1	3	0	1	0	1	1	1	15
	女	0	4	2	3	2	1	1	4	2	1	5	3	28
退去	男	1	2	2	1	2	2	0	0	1	0	1	1	13
	女	1	5	0	4	1	3	1	5	2	3	4	4	33

④ 入/退所者経路 (単位：人) ※令和6年3月31日現在

区分	入 居				退 去					
	自宅	他施設	病院等	計	死亡	自宅	他施設	病院等	計	合計
男	12	3	1	16	7	0	1	5	13	29
女	17	4	6	27	17	1	0	15	33	60
計	29	7	7	43	24	1	1	20	46	89

⑤ 入所前の生活 (単位：人) ※令和6年3月31日現在

区分	家族				施設・病院等							
	同居家族と	老人夫婦	暮らし一人	計	ホーム 養護老人	ホーム 軽費老人	老人保健 施設	一般病院	老人病院	その他の 施設	計	合計
男	16	9	13	38	1	2	5	8	0	6	22	60
女	47	9	18	74	1	0	11	15	3	13	43	117
計	63	18	31	112	2	2	16	23	3	19	65	177

⑥ 代理人区分 (単位：人) ※令和6年3月31日現在

区分	配偶者	子	配偶者の 子	姉兄弟	孫	甥・姪	その他	計
男	12	26	2	11	0	2	7	60
女	4	86	13	2	0	2	10	117
計	16	112	15	13	0	4	17	177

⑦ 疾病及び痴呆の状況

単位: (人)

区分	男	女	計
脳卒中後遺症	24	30	54
老年及び血管性痴呆	31	75	106
アルツハイマー	12	42	54
高血圧・脳動脈硬化症	23	60	83
精神疾患	5	15	20
眼疾患	4	5	9
難聴	4	1	5
言語障害	5	2	7
パーキンソン病	3	4	7
心臓疾患	9	21	30
閉塞性動脈硬化	1	1	2
呼吸器系	3	5	8
消化器系	4	7	11
ヘルニア	1	2	3
糖尿病	12	21	33
てんかん	4	2	6
耳鼻科系疾患	0	0	0
歯科系疾患	0	0	0
筋・骨格系	13	45	58
リュウマチ	0	4	4
皮膚疾患	3	5	8
腎・泌尿器・生殖系	18	14	32
褥瘡	0	0	0
血液疾患(貧血含む)	2	8	10
MRSA	0	0	0
疥癬	0	0	0
痔	0	0	0
計	181	369	550

※重複あり

⑧ 入院の状況

※ 当月に入院開始した人数

単位: (人)

(病名) \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
肺炎	2	5		3	2	2	1	1		5	3	3	27
心不全				1									1
脳梗塞			1										1
脳出血	2											1	3
神経内科													0
泌尿器	2	1			2	1	2		2		1	1	12
眼科													0
皮膚科													0
消化器疾病	2			1	1	2		3			1	1	11
骨折	1	1								1			3
計	9	7	1	5	5	5	3	4	2	6	5	6	58

1日平均 入院者数	4.8	4.5	1.1	1.6	2.7	2.7	1.7	3.4	1.1	2.2	2.7	3.3	2.6
--------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(※ 昨年度 3.7)

⑨ 受診の状況

受診科/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般内科	15	7	5	12	9	10	12	11	14	10	14	19	138
循環器内科	0	1	1	0	2	5	2	0	0	0	4	3	18
リウマチ科	1	2	0	1	2	0	2	0	1	2	0	0	11
呼吸器内科	1	3	1	0	0	0	0	3	0	1	2	0	11
神経内科	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
外科	3	1	1	0	1	7	1	3	2	6	3	4	32
整形外科	12	16	16	22	14	15	14	12	17	18	14	15	185
脳神経外科	2	1	3	2	5	1	2	2	8	5	6	4	41
消化器科	2	4	4	0	2	1	0	2	5	2	1	1	24
精神科	4	6	4	5	5	15	6	8	11	8	7	7	86
眼科	1	0	3	2	3	3	0	2	2	3	4	3	26
歯科	66	60	69	35	51	27	71	68	62	45	72	72	698
皮膚科	10	13	14	18	16	12	27	13	16	12	9	12	172
耳鼻咽喉科	0	0	3	0	0	0	0	1	3	0	1	0	8
泌尿器科	3	3	1	3	3	1	2	3	5	4	3	7	38
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
計	121	119	126	100	113	98	139	128	146	116	142	147	1,495

⑩ 平均介護度

長期入所者 平均介護度

(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男性	3.9	3.9	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8
女性	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1
合同	3.93	3.94	3.94	3.98	4.00	4.02	4.01	4.02	4.06	4.07	4.10	4.06	4.01

ショート入所者 平均介護度

(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男性	2.9	2.6	2.6	2.5	2.7	2.5	2.7	2.7	2.9	3.0	2.9	2.9	2.7
女性	3.1	3.0	2.7	3.4	3.6	3.6	3.2	3.3	3.3	3.1	3.2	3.5	3.3
合同	3.0	2.8	2.7	2.9	3.1	3.0	3.0	3.0	3.1	3.1	3.0	3.2	2.99

⑪ 食事形態

※ 令和6年3月31日 ショートステイ利用者を含む
入院者は含まない

主 食	常 食				軟 飯		全 粥				重湯	パン食		流動食		プリン食	経管 栄養	合計
副 食	常菜	大きざみ	小さざみ	ミキサー	大きざみ	小さざみ	常菜	大きざみ	小さざみ	ミキサー	ミキサー	大きざみ	小さざみ	小さざみ	ミキサー	(ミキサー)		
人 数 (人)	34	17	1	0	26	9	0	8	39	21	3	1	0	4	3	16	8	190
割 合	17.9%	8.9%	0.5%	0.0%	13.7%	4.7%	0.0%	4.2%	20.5%	11.1%	1.6%	0.5%	0.0%	2.1%	1.6%	8.4%	4.2%	

令和5年度 長期入所 実績

目標稼働率：97.5%

年 区分		令和5年										令和6年			(年度計)
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
要介護1 (人日)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
要介護2 (人日)		4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	55	
要介護3 (人日)		40	42	46	44	45	46	45	50	51	49	51	51	560	
要介護4 (人日)		80	79	76	78	78	79	78	76	75	78	77	78	932	
要介護5 (人日)		56	57	57	58	53	53	51	50	48	47	49	48	627	
小計 (人日)		180	182	183	184	180	183	179	181	179	179	182	182	2,174	
稼働率 (%)		96.54%	97.08%	99.57%	98.85%	98.10%	97.67%	98.37%	96.98%	98.75%	97.60%	96.74%	96.97%	97.77%	

年度における平均介護度 4.01

令和5年度 ショート 実績

目標稼働率：90.0%

年 区分		令和5年												令和6年			(年度計)
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
要支援1 (人日)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
要支援2 (人日)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
要介護1 (人日)		2	2	2	2	1	1	1	2	2	5	3	4	4	27	27	
要介護2 (人日)		6	8	8	8	7	8	9	6	5	5	6	4	4	80	80	
要介護3 (人日)		15	15	10	11	11	11	11	14	12	9	11	10	10	140	140	
要介護4 (人日)		2	2	4	4	5	4	7	6	9	8	7	7	7	65	65	
要介護5 (人日)		2	2	2	4	4	3	1	2	2	2	2	2	2	28	28	
小計 (人日)		27	29	26	28	29	28	28	30	30	29	29	27	27	340	340	
稼働率 (%)		81.17%	76.94%	59.33%	69.35%	78.23%	81.00%	82.26%	83.83%	84.84%	90.65%	82.07%	82.10%	82.10%	79.31%	79.31%	

年度内における平均介護度 2.99

3. りんどう デイサービスセンター

■ 概略

[1 日平均の利用者]

今年度実績は 14.0 人です。(昨年度 12.3 人) ※ 定員 25 名
新型コロナ感染拡大時には、利用控え等の影響もありました。

[地域交流]

新型コロナ感染症拡大に伴い、在宅の高齢者向けに「りんどうの集い」を行って
きましたが、前年度・前々年度に続き中止しました。

[職員間の連携]

月 1 回(第 4 月曜日) デイ会議を開催。その中で職種ごとの立場で意見交換。
日々のサービス提供についての検証、改善、連携を特に重点的に話し合いました。

[その他(成果)]

- ・ デイ廊下に壁面飾りコーナーで利用者様が楽しめる場所になった。
- ・ りんどう全体で行う職員内部研修への参加ができた。
- ・ 好みを把握し、配慮と身体状況に合う食事の提供を継続した。
- ・ 記録をこれまで以上に詳細にし、分かりやすく保存した。
- ・ 送迎の際など、積極的に近隣の方へ挨拶し交流した。

■ 日 課

8:00~9:30	送迎(体温チェック)	消毒・掃除・準備
9:30	到着	健康チェック 水分補給
10:00~	ケアビクス(座ったまま出来る有酸素運動)	
	関節可動域訓練・下肢筋力維持向上、手遊び	
	ゲーム(自然に身体を動かせ機能訓練を兼ねたもの)	
	入浴(爪切り、耳掃除、整容)・水分補給	
	個別機能訓練・運動器機能向上運動	
12:00~	嚥下体操・唾液腺マッサージ	
12:10~	昼食	
13:00~	口腔ケア	
13:30~	レクレーション・機能訓練、屋内散歩(歩行訓練)	マッサージ
15:00~	おやつ	
15:30~	健康体操	
15:45~	送迎 記録	
	翌日の準備・消毒	

■ サービス提供（介護）における項目ごとの実績

<サービス提供の概念>

短期目標期間に合わせたカンファレンス・居宅サービス計画に沿った介護計画の作成実施。

<環境づくり>

新型コロナ感染症感染予防－食事・水分摂取などマスクを外す場面で使用するテーブルの飛沫防止板の設置。玄関・デイホール内の消毒液設置。換気、手を触れる部分の消毒
広いスペースを利用した落ち着く場所づくり・動線の確保・転倒防止に配慮・コミュニケーションがとやすい環境はほぼ出来た。

利用者が作った作品や季節感のある作品を展示した。

<介護>

必要に応じ、本人家族の意向を踏まえてカンファレンスを実施し利用者ごとに必要とされるサービスを考慮し計画を立て提供できた。利用者の ADL の変化に伴い、歩行補助具や食事形態などの助言を行った。

<食事、栄養>

感染予防の為、食事中的会話は慎まなければならなかったが、大変和やかに召し上がって頂けた。利用者ごとの嗜好、形態などの配慮もできた。

自助具を活用した。水分摂取についても、脱水予防の為に日頃から水分を摂りにくい利用者については特に注意して観察し水分摂取して頂いた。

<レクリエーション>

活動的なプログラムが増え、利用者が自然に身体を動かし機能訓練につながった。
利用者の意見を取り入れ、積極的に参加できるように配慮した。

<機能訓練>

個別に計画を立て、自然な流れの中で楽しみながら訓練が出来た。

歩行補助具を活用することで、歩行に消極的だった利用者も積極的に歩行するようになった。

<口腔ケア>

口腔ケアの際は特に新型コロナ感染症のリスクが上がる為、職員は防護用メガネ等使用し、利用者様にも間隔をあけて待っていただくよう協力して頂いた。

介助からセルフケアに移行出来そうな利用者には見守りながら自分で行って頂き不十分な所だけ介助した。

<入浴>

本人、家族の希望に配慮したサービスができた。

入浴順序について、特定の人がいつも一番にならないように工夫した。入浴拒否者について、原因や傾向など記録を残し検証。無理強いせず入浴して頂けるよう工夫した。

次年度への課題

- ・ 利用者の拡大。
- ・ 地域性を活かした「りんどうデイサービス」の特色を創案及び実施。
- ・ 職員の専門職としての意識づけ(デイ勉強会・研修への積極的な参加)。
- ・ 利用者の尊厳・自立支援に向けての取り組み。
- ・ 職員間の連携、共通認識で業務に取り組む。
- ・ 業務内容の整理
- ・ 支援、介護が一方的になっていないかを利用者の立場に立って、自己点検・相互点検を行い改善のための努力をする。
- ・ 利用者が、「楽しかった!」「また来るよ!」と帰り際に言ってくれるような、充実したサービス内容の提供を進化させていく。
- ・ 利用者が気を悪くされることの発端は、職員の接遇にあり、それがクレームとなります(今までのクレームから)。気を悪くされない気配り・接遇を各々職員が、常に気に留め行動することを徹底させる。

上記に掲げた課題解決が、より良きサービス提供につながり、利用者様に楽しく利用して頂けるものと心得ます。楽しく安心して過ごして頂ける「デイサービス」の評判が広がるよう精進して行きたいと、この年度を振り返り反省をするところであり、次年度に繋げたい、と考えます。

■ 実績

	4		5		6		7		8		9		10		11		12		1		2		3		合計		
	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	利用 人日	実人数	
事業対象者	5	1	5	1	4	1	4	1																	18	4	
	4	1	4	1	3	1	4	1	3	1	4	1	3	1	4	1	3	1	4	1	3	1	2	1	3	1	
	9	2	9	2	7	2	8	2	3	1	4	1	3	1	4	1	3	1	4	1	3	1	2	1	3	1	
要支援1									2	1															2	1	
	22	3	21	3	21	3	19	3	22	3	20	3	20	3	13	2	7	2	12	2	12	2	12	2	201	31	
	22	3	21	3	21	3	19	3	24	4	20	3	20	3	13	2	7	2	12	2	12	2	12	2	203	32	
	4	1	4	1	5	1	4	1	5	1	4	1	4	1	5	1	4	1	4	1	5	1	4	1	52	12	
要支援2	33	5	40	5	39	5	34	5	40	5	34	5	38	5	33	5	30	5	23	4	28	4	25	4	397	57	
	37	6	44	6	44	6	38	6	45	6	38	6	42	6	38	6	34	6	27	5	33	5	29	5	449	69	
	45	3	49	4	53	4	53	4	61	6	48	6	22	4	22	4	28	5	36	5	32	5	34	6	483	56	
	103	12	107	11	107	11	119	11	113	11	111	11	108	11	123	12	122	13	140	15	134	14	151	15	1438	147	
介護度1	148	15	156	15	160	15	172	15	174	17	159	17	130	15	145	16	150	18	176	20	166	19	185	21	1921	203	
													25	1	24	1	25	1	20	2	23	2	15	2	132	9	
	96	10	91	11	79	8	83	8	69	7	67	7	70	7	59	6	60	6	56	7	65	7	64	6	859	90	
	96	10	91	11	79	8	83	8	69	7	67	7	95	8	83	7	85	7	76	9	88	9	79	8	991	99	
介護度2	12	1	14	1	12	1	13	1	13	1	13	1	13	1	13	1	13	1	13	1	7	1	9	1	145	12	
	32	3	36	3	37	4	44	4	37	3	41	4	35	3	38	4	29	4	25	3	25	3	29	3	408	41	
	44	4	50	4	49	5	57	5	50	4	54	5	48	4	51	5	42	5	38	4	32	4	38	4	553	53	
																									0	0	
介護度4	8	1	5	1	4	1	4	1	23	2	22	2	21	2	22	2	22	2	21	2	15	1	13	1	180	18	
	8	1	5	1	4	1	4	1	23	2	22	2	21	2	22	2	22	2	21	2	15	1	13	1	180	18	
																									0	0	
					2	1																			2	1	
介護度5	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	
	364	41	376	42	366	39	381	40	388	41	364	41	359	39	355	39	344	41	350	43	348	41	359	42	4357	491	
	25		27		26		26		27		26		26		26		26		26		25		26		312		
	14.6		13.9		14.1		14.7		14.4		14.0		13.8		13.7		13.2		13.5		13.9		13.8		14.0		
①・・・実質稼働日数	3,015,037		3,051,047		2,921,022		3,075,127		3,435,248		3,101,361		3,018,243		3,052,812		3,007,199		3,124,709		2,945,645		3,058,111		36,805,561		
②・・・介護報酬収入	¥8,283		¥8,114		¥7,981		¥8,071		¥8,854		¥8,520		¥8,407		¥8,599		¥8,742		¥8,928		¥8,464		¥8,518		¥8,457		
③・・・②÷利用人日	一人一回あたりの利用料金																										

※ 収入額については、過誤申請等の調整がかかり最終的な額は決算書の数字となる。

居宅介護支援事業所

（目標）

利用さんが可能な限り在宅で有する能力に応じて自立した生活を営めるように適切な居宅介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、居宅サービスの提供が確保されるように他の事業者、関係機関との連絡調整その他の便宜の提供をおこなう。

（支援目標への対応）

- ① 感染対策を意識し訪問。適切なプランの提案の実施。利用者への自立支援ケアマネジメントを公平・中立、適切に行うことに努める。
- ② zoom研修等を通じて情報収集、関係づくりを維持し事業所間の連携を行うことで、継続的に利用者獲得に繋がった。
- ③ 利用者への自立支援ケアマネジメントを公平・中立、適切に行うことに努めた。

4. 居宅介護支援事業所コスモス

〈認定調査〉

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
調査件数(件)	8	7	6	7	3	5	6	3	3	6	3	2	59
調査料収入(円)	44,000	38500	33550	39050	17050	27500	33000	16500	16500	33000	16500	11000	326150

← ①

* 認定調査委託費1件あたり 5,500円

〈予防給付〉

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
件数(件)	19	19	19	19	10	10	11	11	13	13	12	10	166
給付収入(円)	80,827	78014	78014	78014	41060	41060	50792	45166	53378	53378	49272	41060	690035

← ②

* 予防給付委託費1件あたり 4,106円

〈介護給付〉

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
件数(件)	63	64	64	58	44	30	33	35	34	34	33	38	530
給付収入(円)	797,517	797,520	794,645	698,555	539,057	445,201	402,441	429,491	421,446	423,300	410,235	471,460	6,630,868

← ③

* 居宅支援費 I ◎ 介護1・2(¥11,211) ◎ 介護3・4・5(¥14,567) 平均・・・ ¥12,659

年間収入 ①+②+③ **¥7,647,035**

※ 収入額については、過誤申請等の調整がかかり最終的な額は決算書の数字となる。

5. 居宅介護支援事業所りんどう

〈認定調査〉

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
項目													
調査件数(件)	6	5	3	3	5	2	3	3	5	3	2	2	42
調査料収入(円)	33,000	27,500	16,500	16,500	27,500	11,000	16,500	16,500	27,500	16,500	11,000	11,000	231,000

← ①

* 認定調査委託費1件あたり 5,500円

〈予防給付〉

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
項目													
件数(件)	14	15	15	14	14	12	11	10	9	9	8	8	139
給付収入(円)	63,110	76,948	61,590	57,484	63,110	49,272	45,166	41,060	36,954	36,954	32,848	32,848	597,344

← ②

* 予防給付委託費1件あたり 4,106円

〈介護給付〉

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
項目													
件数(件)	65	67	65	64	66	66	72	68	68	71	72	74	818
給付収入(円)	810,714	848,184	817,135	811,925	822,324	819,259	911,641	850,998	890,261	923,603	904,117	930,125	10,340,286

← ③

* 居宅支援費 I ◎ 介護1・2(¥11,211) ◎ 介護3・4・5(¥14,567) 平均・・・ ¥12,659

年間収入 ①+②+③ ¥11,168,630

※ 収入額については、過誤申請等の調整がかかり最終的な額は決算書の数字となる。

6. 居宅介護支援事業所りんどう羽鳥

〈認定調査〉

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
項目													
調査件数(件)	1			1	1				1	2		1	7
調査料収入(円)	5,500	0	0	5,500	5,500	0	0	0	5,500	11,000	0	5,500	38,500

← ①

* 認定調査委託費1件あたり 5,500円

〈予防給付〉

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
項目													
件数(件)	2	2	2	2	2	2	3	4	4	4	4	4	35
給付収入(円)	8,212	8,212	8,212	8,212	8,212	8,212	17,944	19,237	16,424	16,424	16,424	16,424	152,149

← ②

* 予防給付委託費1件あたり 4,106円 初回加算1件あたり5,626円 2,813円

〈介護給付〉

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
項目													
件数(件)	34	32	32	32	32	36	35	36	37	36	35	35	412
給付収入(円)	430,406	405,088	405,088	405,088	405,088	455,724	443,065	455,724	468,383	455,724	443,065	443,065	5,215,508

← ③

* 居宅支援費 I ◎ 介護1・2(¥11,211) ◎ 介護3・4・5(¥14,567) 平均・・・ ¥12,659

年間収入 ①+②+③ 5,406,157

※ 収入額については、過誤申請等の調整がかかり最終的な額は決算書の数字となる。

7. ワークセンターりんどう

(就労継続支援 A 型)

□ 利用状況（令和 6 年 3 月 31 日末現在）

No.	氏名	年齢	性別	手帳	職業 判定	障害 年金	始業・終業時刻	所定労働 時間/週
1	A	54	女	知的 B	重度	2 級	9:00~16:45	33.75
2	B	42	女	知的 A	重度	2 級	同上	33.75
3	C	39	男	知的 B	重度	2 級	同上	33.75
4	D	38	女	知的 B	重度	2 級	同上	33.75
5	E	49	女	知的 B	重度	2 級	同上	33.75
6	F	33	男	知的 B	なし	2 級	同上	33.75
7	G	25	男	知的 B	なし	2 級	同上	33.75
8	H	29	男	知的 B	なし	2 級	同上	33.75
9	I	22	男	知的 B	重度	2 級	9:00~13:00	20
10	J	48	男	身体 4 級	—	—	9:00~16:45	33.75
11	K	52	男	精神 2 級	—	2 級	9:00~16:45	33.75
12	L	26	男	知的 B	重度	2 級	9:00~13:00	20

□ 利用者推移（詳細は別紙②参照）

		令和 4 年度（年計）		令和 5 年度（年計）	
		実人数	延人数	実人数	延人数
知的(重度)	男	12	254	12	254
	女	48	1011	48	1028
知的(軽度)	男	60	1238	60	1231
身体	男	12	251	12	260
精神	男	12	247	12	258
	女	12	250	12	242
合計		156	3251	155	3273

□ 収入の部（詳細は別紙②参照）

区分	令和 4 年度 (年計)	令和 5 年度 (年計)	比較		対前年
			増	△減	
事業収入	16,200,000 円	16,200,000 円	0 円	0 円	100%
給付費収入	30,461,812 円	30,697,510 円	235,698 円	—	101%
助成金収入	4,545,660 円	5,477,500 円	931,840 円	—	120%
合計	51,207,472 円	52,375,010 円	1,167,538 円	—	102%

□ 支出の部…利用者工賃(賃金)に限る(詳細は別紙②参照)

区分	令和 4 年度 (年計)	令和 5 年度 (年計)	比較		対前年
			増	△減	
賃金総額	18,096,822 円	21,225,995 円	3,129,173 円	0 円	117%
合計	18,096,822 円	21,225,995 円	3,129,173 円	0 円	117%

―事業計画に基づく具体的施策への取り組み(結果)―

□ 個々のニーズに合わせた個別支援の実施(利用者主体の自己実現を支援する)

項目	計画	令和 5 年度実績
アセスメント	・『家族サポートブック』作成 ・就業生活を支える『家族意識啓発』。 ・父母の会協働作成(B型含む)。	・家族支援の実行率 40% ※課題 ・父母の会行事の継続実施。
モニタリング	・日々の目標管理を実施(継続)。 ・手法(方法)の定期的な見直し・修正。	・目標管理の実効率 70% ※課題 ・モニタリングの実効性 50% ※課題
父母の会	・家族主体の定期運営を目指す(継続)。	・計画的な父母の会の実施。 ・家族の主体性、徐々に向上

□ 福祉・雇用・教育とのネットワーク構築と活用(維持・継続)

項目	計画	令和 5 年度実績
計画相談との連携	・計画相談中心ネットワーク体制構築 ・家族へ周知啓発(父母の会・面談等)。 ・計画未実施 0 名の計画相談契約。	・計画相談の実効率 45% ※課題 ・周知・連携の実効率 45% ※課題
営業活動	・関係機関マップ作成(情報・計画等)。 ・ロコミ営業実施(近親者強化)。 ・新規開拓事業強化(B型)。	・関係機関(連携)の実効率 45% ※課題 ・利用者受入数の目標値達成。
定着支援	・情報共有(父母の会・家庭訪問)。 ・本人・企業・家族の連携強化。	・職場定着支援の実行率 30% ※課題 ・家族(連携)の実効率 30% ※課題

□ 各サービス提供プロセスの改善

項目	計画	令和 5 年度実績
マニュアル	・マニュアルの見直し・修正(継続)。 ・B 型開所に伴い新規マニュアル作成。	・新規マニュアルの作成。 ・マニュアル改の実効率 30% ※課題
プロセス PDCA	・プロセス PDCA(定例会/月)(継続)。	・定例会の実行率 65% ※課題 ・事業計画の推進達成(目標値 70%)。

□ 各サービス内容の質の向上（PDCA）

項目	計画	令和 5 年度実績
一般就職移行	・プロセス PDCA(定例会/月)(継続)。	・就職者 0 名。 ・求職活動(職場実習) 1 名。
期間目標	・計画作成(目標・期間)(継続)。	・計画性の実効率 55% ※課題 ・計画(調整)力達成(目標値 70%)。

□ サービス提供職員の資質向上

項目	計画	令和 5 年度実績
専門性向上	・資格取得等、高度な専門性の獲得。	・資格取得の実効率 40% ※課題 ・専門力習得達成(目標値 70%)。
コミュニケーション	・情報交換会の実施(継続)。	・職員間の連携達成(目標値 75%)。 ・他事業所(連携)の実効率 40% ※課題

□ 就労継続支援 A 型・B 型多機能型事業所の確立（第一段階）

項目	計画	令和 5 年度実績
利用者受入	・A 型利用定員 10 名受入。 ・B 型利用定員 10 名受入。	・A 型利用者 12 名受入(R6.3 末日)。 ・B 型利用者 14 名受入(R6.3 末日)。
作業の確立	・B 型作業内容の構築(内容)。 ・B 型作業内容の構築(カリキュラム)。	・B 型作業内容構築(目標値 70%)。 ・B 型カリキュラム構築(目標値 65%)。
工賃向上	・B 型工賃規定の改定(所得補償)。	・工賃改定の準備(目標値 100%)。 ・工賃規定改定の実効率 90% ※課題
職員体制の構築	・新任職員の育成(標準的業務の習得)。 ・職員間のコミュニケーション。	・新任職員の育成(目標値 75%)。 ・コミュニケーション(目標値 75%)。

□ 令和 6 年度に向けた事業目標（事業計画）

項目	計画	令和 6 年度の達成目標
利用者受入 (拡大)	・A 型利用定員 14 名受入。 ・B 型利用定員 14 名受入。	・A 型・B 型利用定員受入(左記参照)。
魅力作り (カリキュラム・工賃)	・「トレーニングセンターB」事業構築 ・特養への労働力提供(工賃・質向上)。	・A 型や企業への就労移行(1 名)。 ・工賃維持・質向上(平均 25,000 円)。
職員の質の向上 (コミュニケーション)	・求められる職務遂行(キャリアパス)。 ・笑顔溢れる職員間の雰囲気づくり。	・職員の役割分掌(連携)。 ・活気ある職場の雰囲気づくり(風土)。

令和5年度 ワークセーターりんどう(就労継続支援A型)事業報告書

◇利用者の状況

※人数()内はうち短時間労働者数を記載

		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
		利用者総数		利用者総数		利用者総数		利用者総数		利用者総数		利用者総数		利用者総数		利用者総数		利用者総数		利用者総数		利用者総数		利用者総数		利用者総数	
		実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
知的(重度)	男	1	22	1	23	1	20	1	18	1	22	1	22	1	22	1	21	1	22	1	22	1	21	1	19	12	254
	女	4	85	4	85	4	88	4	86	4	86	4	87	4	88	4	84	4	84	4	84	4	84	4	90	48	1028
	小計	5	107	5	108	5	108	5	104	5	108	5	109	5	110	5	105	5	106	5	106	5	105	5	109	60	1282
知的(軽度)	男	5(3)	104	5(2)	112	5(2)	107	5(2)	101	4(1)	89	5(2)	101	5(2)	108	5(2)	105	5(2)	100	5(2)	106	5(2)	93	5(2)	105	60	1231
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	5	104	5	112	5	107	5	101	4	89	5	101	5	108	5	105	5	100	5	106	5	93	5	105	60	1231
精神	男	1	20	1	23	1	22	1	21	1	23	1	21	1	22	1	22	1	23	1	19	1	21	1	21	12	258
	女	1(1)	20	1(1)	22	1(1)	22	1(1)	21	1(1)	23	1(1)	20	1(1)	22	1(1)	19	1(1)	19	1(1)	20	1(1)	20	1(1)	14	12	242
	小計	2	40	2	45	2	44	2	42	2	46	2	41	2	44	2	41	2	42	2	39	2	41	2	35	24	500
身体	男	1(1)	20	1	24	1	21	1	22	1	22	1	22	1	23	1	21	1	21	1	20	1	21	1	23	12	260
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1	20	1	24	1	21	1	22	1	22	1	22	1	23	1	21	1	21	1	20	1	21	1	23	12	260
合計		13	271	13	289	13	280	13	269	12	265	13	273	13	285	13	272	13	266	13	271	13	260	13	272	155	3273
1日平均利用者数		9.03		9.32		9.33		8.68		8.55		9.10		9.19		9.07		8.58		8.74		9.29		8.77			
事業収入		1,350,000		1,350,000		1,350,000		1,350,000		1,350,000		1,350,000		1,350,000		1,350,000		1,350,000		1,350,000		1,350,000		1,350,000		16,200,000	
給付費収入		2,733,810		2,659,587		2,600,611		2,334,561		2,645,623		2,557,082		2,657,525		2,540,466		2,487,440		2,528,182		2,426,551		2,526,072		30,697,510	
助成金収入																820,000		4,657,500							5,477,500		
収入(合計)		4,083,810		4,009,587		3,950,611		3,684,561		3,995,623		3,907,082		4,007,525		4,710,466		8,494,940		3,878,182		3,776,551		3,876,072		52,375,010	
平均工賃(賃金)実績		117,278		121,863		159,747		129,068		136,593		130,704		132,471		136,338		170,110		141,523		133,580		134,001		136,942	
工賃(賃金)総額		1,524,616		1,584,216		2,076,706		1,677,890		1,639,116		1,699,146		1,722,125		1,772,389		2,211,436		1,839,804		1,736,540		1,742,011		21,225,995	
支出(合計)		1,524,616		1,584,216		2,076,706		1,677,890		1,639,116		1,699,146		1,722,125		1,772,389		2,211,436		1,839,804		1,736,540		1,742,011		21,225,995	

※寸志(6月(12名):446,490円/12月(12名):470,650円)含む。

◇退所の状況

令和5年4月～令和5年9月	1人	移行先:一般企業	合計
令和5年10月～令和6年3月	1人	移行先:就労継続支援B型	2名

◇就職の状況

令和5年4月～令和5年9月	0人	就職先:	合計
令和5年10月～令和6年3月	0人	就職先:	0名

◇実習受入の状況

区分	学校関係	相談支援事業所	就労支援事業所	合計
令和5年4月～令和5年9月	実人数:1人/延人数:10人	実人数:1人/延人数:23人	実人数:1人/延人数:20人	実人数:3人/延人数:53人
令和5年10月～令和6年3月	実人数:2人/延人数:19人	実人数:0人/延人数:0人	実人数:2人/延人数:20人	実人数:4人/延人数:39人

※ 収入額については、過誤申請等の調整がかかり最終的な額は決算書の数字となる。

(就労継続支援 B 型)

□ 利用状況（令和 6 年 3 月 31 日末現在）

No.	氏名	年齢	性別	手帳	職業 判定	障害 年金	始業・終業時刻	所定労働 コマ/週
1	A	37	男	知的 A	重度	2 級	9:30~16:00	25
2	B	35	男	知的 A	重度	2 級	同上	25
3	C	64	男	精神 1 級	—	1 級	同上	15
4	E	44	女	知的 B	—	—	同上	25
5	F	29	男	知的 B	—	2 級	同上	25
6	G	29	男	精神 2 級	—	—	同上	25
7	H	24	男	身体 1 級	—	—	同上	25
8	I	25	男	知的 B	—	2 級	同上	25
9	J	24	男	知的	—	—	同上	25
10	K	23	男	知的 B	—	未成年	同上	25
11	L	48	女	精神 3 級	—		同上	25
12	M	27	男	知的 A	重度	—	同上	25
13	N	28	男	知的 B	—	—	同上	25
14	O	53	女	精神 2 級	—	—	同上	25

□ 利用者推移（詳細は別紙②参照）

		令和 4 年度（年計）		令和 5 年度（年計）	
		実人数	実人数	実人数	延人数
知的(重度)	男	39	784	48	975
	女	12	214	12	203
知的(軽度)	男	59	1147	60	1178
	女	0	0	0	0
精神	男	24	290	24	238
	女	10	167	13	213
身体	男	12	54	12	51
	女	0	0	0	0
合計		156	2656	166	2736

□ 収入の部（詳細は別紙②参照）

区分	令和 4 年度 (年計)	令和 5 年度 (年計)	比較		対前年
			増	△減	
事業収入	—	—	—	—	—
給付費収入	24,349,323 円	24,783,532 円	434,209 円	—	102%
助成金収入	0 円	0 円	0 円	—	—
合計	24,349,323 円	24,783,532 円	434,209 円	—	102%

□ 支出の部…利用者工賃(賃金)に限る(詳細は別紙②参照)

区分	令和 4 年度 (年計)	令和 5 年度 (年計)	比較		対前年
			増	△減	
工賃総額	4,466,036 円	4,894,298 円	428,262 円	0 円	109%
合計	4,466,036 円	4,894,298 円	円	0 円	109%

—事業計画に基づく具体的施策への取り組み(結果)—

□ 個々のニーズに合わせた個別支援の実施(利用者主体の自己実現を支援する)

項目	計画	令和 5 年度実績
アセスメント	・『家族サポートブック』作成 ・就業生活を支える『家族意識啓発』。 ・父母の会協働作成(B型含む)。	・家族支援の実行率 30% ※課題 ・父母の会行事の継続実施。
モニタリング	・日々の目標管理を実施(継続)。 ・手法(方法)の定期的な見直し・修正。	・目標管理の実効率 50% ※課題 ・モニタリングの実効性 50% ※課題
父母の会	・家族主体の定期運営を目指す(継続)。	・計画的な父母の会の実施。 ・家族の主体性、徐々に向上

□ 福祉・雇用・教育とのネットワーク構築と活用(維持・継続)

項目	計画	令和 5 年度実績
計画相談との連携	・計画相談中心ネットワーク体制構築 ・家族へ周知啓発(父母の会・面談等)。 ・利用者全員の計画相談契約。	・計画相談の実効率 50% ※課題 ・周知・連携の実効率 50% ※課題
営業活動	・関係機関マップ作成(情報・計画等)。 ・ <u>口コミ営業実施(近親者強化)</u> 。 ・新規開拓事業強化(B型)。	・関係機関(連携)の実効率 50% ※課題 ・利用者受入数の目標値達成。
定着支援	・情報共有(父母の会・家庭訪問)。 ・本人・企業・家族の連携強化。	・職場定着支援の実行率 20% ・家族(連携)の実効率 20%

□ 各サービス提供プロセスの改善

項目	計画	令和 5 年度実績
マニュアル	・マニュアルの見直し・修正(継続)。 ・B型開所に伴い新規マニュアル作成。	・新規マニュアルの作成。 ・マニュアル改の実効率 30% ※課題
プロセスPDCA	・プロセスPDCA(定例会/月)(継続)。	・定例会の実行率 60% ・事業計画の推進達成(目標値 70%)。

□ 各サービス内容の質の向上（PDCA）

項目	計画	令和 5 年度実績
一般就職移行	・プロセス PDCA(定例会/月)(継続)。	・就職者 0 名。 ・求職活動(職場実習) 1 名(20 日間)。
期間目標	・計画作成(目標・期間)(継続)。	・計画性の実効率 50% ※課題 ・計画(調整)力達成(目標値 50%)。

□ サービス提供職員の資質向上

項目	計画	令和 5 年度実績
専門性向上	・資格取得等、高度な専門性の獲得。	・資格取得の実効率 50% ・専門力習得達成(目標値 60%)。
コミュニケーション	・情報交換会の実施(継続)。	・職員間の連携達成(目標値 60%)。 ・他事業所(連携)の実効率 40% ※課題

□ 就労継続支援 A 型・B 型多機能型事業所の確立（第一段階）

項目	計画	令和 5 年度実績
利用者受入	・A 型利用定員 10 名受入。 ・B 型利用定員 10 名受入。	・A 型利用者 12 名受入(R6.3 末日)。 ・B 型利用者 14 名受入(R6.3 末日)。
作業の確立	・B 型作業内容の構築(内容) ・B 型作業内容の構築(カリキュラム)。	・B 型作業内容構築(目標値 70%)。 ・B 型カリキュラム構築(目標値 65%)。
工賃向上	・B 型工賃規定の改定(所得補償)。	・工賃改定の準備(目標値 100%)。 ・工賃規定改定の実効率 90% ※課題
職員体制の構築	・新任職員の育成(標準的業務の習得)。 ・職員間のコミュニケーション。	・新任職員の育成(目標値 75%)。 ・コミュニケーション(目標値 75%)。

□ 令和 6 年度に向けた事業目標（事業計画）

項目	計画	令和 6 年度の達成目標
利用者受入 (拡大)	・A 型利用定員 14 名受入。 ・B 型利用定員 14 名受入。	・A 型・B 型利用定員受入(左記参照)。
魅力作り (カリキュラム・工賃)	・「トレーニングセンターB」事業構築。 ・特養への労働力提供(工賃・質向上)。	・A 型や企業への就労移行(1 名)。 ・工賃維持・質向上(平均 25,000 円)。
職員の質の向上 (コミュニケーション)	・求められる職務遂行(キャリアパス)。 ・笑顔溢れる職員間の雰囲気づくり。	・職員の役割分掌(連携)。 ・活気ある職場の雰囲気づくり(風土)。

令和5年度 ワークセンターりんどう(就労継続支援B型)事業報告書

◇利用者の状況

※人数()内はうち短時間労働者数を記載

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	利用者総数		利用者総数		利用者総数		利用者総数		利用者総数		利用者総数		利用者総数		利用者総数		利用者総数		利用者総数		利用者総数		利用者総数		利用者総数		
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	
知的(重度)	男	4	78	4	86	4	86	4	81	4	77	4	80	4	82	4	86	4	77	4	82	4	76	4	84	48	975
	女	1	17	1	13	1	18	1	18	1	19	1	19	1	16	1	17	1	14	1	17	1	17	1	18	12	203
	小計	5	95	5	99	5	104	5	99	5	96	5	99	5	98	5	103	5	91	5	99	5	93	5	102	60	1178
知的(軽度)	男	5	95	5	106	5	98	5	96	5	93	5	100	5	80	4	73	4	78	5	73	5	82	4	82	57	1056
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	5	95	5	106	5	98	5	96	5	93	5	100	5	80	4	73	4	78	5	73	5	82	4	82	57	1056
精神	男	2	23	2	33	2	32	2	10	2	9	2	26	2	23	2	21	2	13	2	16	2	18	2	14	24	238
	女	1	14	1	20	1	17	1	14	1	18	1	19	1	15	1	18	1	21	1	19	1	16	2	22	13	213
	小計	3	37	3	53	3	49	3	24	3	27	3	45	3	38	3	39	3	34	3	35	3	34	3	36	37	451
身体	男	1	6	1	8	1	6	1	5	1	4	1	1	1	0	1	2	1	2	1	8	1	8	1	1	12	51
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1	6	1	8	1	6	1	5	1	4	1	1	1	0	1	2	1	2	1	8	1	8	1	1	12	51
合計	14	233	14	266	14	257	14	224	14	220	14	245	14	216	13	217	13	205	14	215	14	217	14	221	166	2736	
1日平均利用者数	7.77		8.58		8.57		7.23		7.10		8.17		6.97		7.23		6.61		6.94		7.75		7.13				
事業収入	—		—		—		—		—		—		—		—		—		—		—		—		—		
給付費収入	2,106,228		2,384,100		2,325,452		1,916,689		2,146,651		2,223,403		1,961,119		1,969,930		1,860,346		1,926,956		1,961,470		2,001,188		24,783,532		
助成金収入	※A型事業報告書に含む																										0
収入(合計)	2,106,228		2,384,100		2,325,452		1,916,689		2,146,651		2,223,403		1,961,119		1,969,930		1,860,346		1,926,956		1,961,470		2,001,188		24,783,532		
平均工賃(賃金実績)	28,684		44,025		25,952		27,291		22,508		26,670		25,076		24,501		38,485		22,473		24,226		44,201		29,484		
工賃(賃金)総額	401,578		616,356		363,331		382,079		315,115		373,379		351,057		318,510		500,301		314,618		339,157		618,817		4,894,298		
支出(合計)	401,578		616,356		363,331		382,079		315,115		373,379		351,057		318,510		500,301		314,618		339,157		618,817		4,894,298		

※一時金6月(13名)2,590円/12月(12名):169,750円/3月(12名):305,327円)含む。

◇退所の状況

令和5年4月～令和5年9月	0人 移行先:	合計
令和5年10月～令和6年3月	2人 移行先: 就労継続支援B型・他事業所	2名

◇就職の状況

令和5年4月～令和5年9月	0人 就職先:	合計
令和5年10月～令和6年3月	0人 就職先:	0名

◇実習受入の状況

区分	学校関係	相談支援事業所	就労支援事業所	合計
令和5年4月～令和5年9月	実人数:0人/延人数:0人	実人数:0人/延人数:0人	実人数:0人/延人数:0人	実人数:0人/延人数:0人
令和5年10月～令和6年3月	実人数:0人/延人数:0人	実人数:1人/延人数:5人	実人数:0人/延人数:0人	実人数:1人/延人数:5人

※ 収入額については、過誤申請等の調整がかかり最終的な額は決算書の数字となる。

8. 会議・委員会活動

項 目	開 催
・ 入所検討会	随時
・ 医務会議	毎月第一火曜日
・ 安全衛生身体拘束廃止委員会	毎月第二木曜日
・ 排泄委員会	毎月第三木曜日
・ 給食会議	年 2 回
・ 記録研究委員会	毎月第四火曜日
・ グループ会議（各棟ごと）	毎月一回
・ 主任会議	必要時
・ キャリアパス運営委員会	随時
・ 研修管理室定例会議	毎月 1 回
・ BCP 計画会議	毎月第三水曜日

9. 職員研修：研修管理室

(基本理念)

研修管理室は、求められるケア等、社会的ニーズに応える知識・技術を養い、限りない成長を遂げ、選ばれる「りんどう」を創る事を目的として、『組織(法人の価値)』及び『個人(階層毎の職責、求められる能力、役割、職務内容等)』に必要な手段(研修等)を企画、立案、調整、運営、評価、還元(行動)するチームとして、効率的・効果的な研修管理システムの運用へ向けて委員全員で委員会を運営します。

(目標)

『人材確保&人材育成(人格形成)』を目的としたプロジェクト等の企画・運営

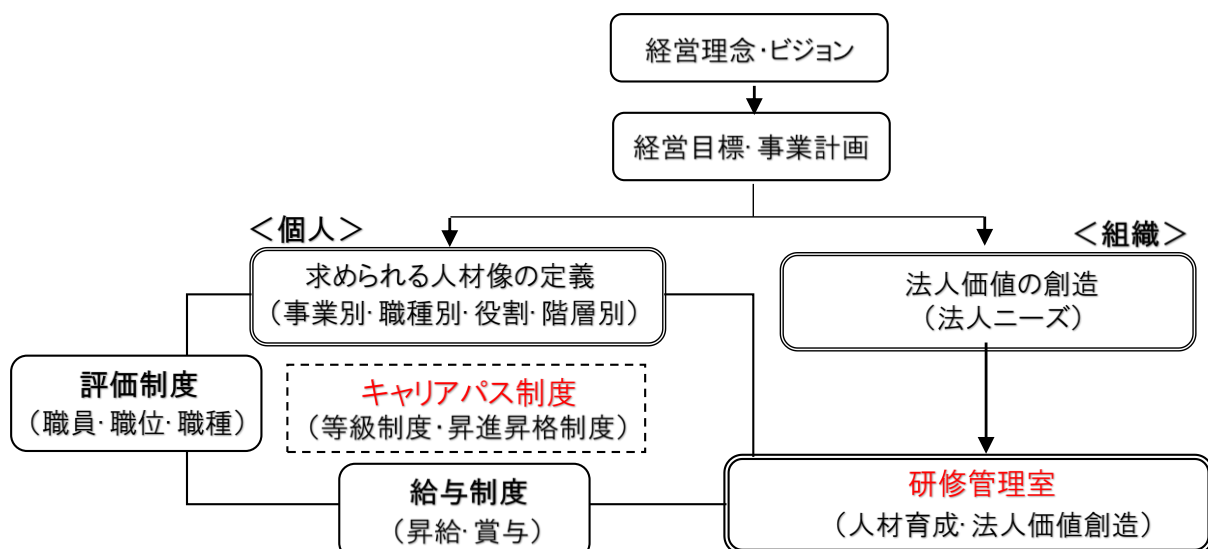
～ニーズ把握&具体的な達成目標を立て結果を出す(目標達成の為の手段(研修))

人材育成の為の研修管理システムの成長を目指し、『組織(法人の価値)』及び『個人(階層毎の職責、求められる能力、役割、職務内容等)』に必要な手段(研修等)の場を提供。強固なメンバーシップ意識を持ち、立てた目標の達成へ向けて行動を起こします。

※基盤(H26)→運用・課題分析(H27)→体系化(H28)→効果的・計画的な運営(H29)→キャリアパス制度との連動(H30)→法人ニーズに基づく研修企画・目標達成(H31・R2・R3・R4・R5)

(施策)

- 人材育成を目的とした研修管理システムの『基盤の維持・継続・向上』
- 『人材確保&人材育成(人格形成)』を目的とした『研修管理室体系の構築』を図る
- 関係部署・機関との連携
- 別紙 1.内部研修計画書 2.キャリアパス(概要) 3.キャリアパス(受講基準一覧)



(施策に関する具体的な取り組み)

○ 人材育成を目的とした研修管理システムの『基盤の確立』

1. 研修管理室の機能向上

- ☐ 強固なメンバーシップ意識(当事者意識&問題意識)を持った「決意」と「行動」
- ☐ 効果的・計画的に研修を活用できるコーディネーター機能の強化(マネジメント能力向上)
- ☐ 第二のオペレーターの育成

→研修管理室におけるプロジェクトリーダーを設置。各自の役割の遂行に努める体制を構築。

→研修の効果的・計画的なマネジメント機能(体制を動かす力)は、次年度の課題。

2. データベースの活用

- ☐ 「研修情報管理データベース」運用・確立(令和2年度)
- ☐ 「人事考課管理データベース」との連動(令和3年度)

→データベース運用は担当者だけの状況、人事考課管理データベースは未構築の状態。

3. 自発的な研修受講への意識啓発 ※self-development(SDS=自己啓発)

- ☐ モチベーション格差の是正(スーパービジョン機能発揮)
- ☐ 研修管理システムの周知と効果的な運用(研修情報の発信) ※当事者意識の啓発

→情報の不透明さ、確固たる平等な研修情報の発信は、次年度も継続は課題。

4. ニーズに応じた研修の企画・調整・実施・目標達成(個人ニーズ・法人ニーズ・社会的ニーズ)

- ☐ 「現状分析力(ニーズ把握)」「企画力(目標設定・方法)」「実行力」「目標達成力」の発揮
- ☐ タイムリーな研修企画(法人価値を高める優先して企画すべき研修)

→内部研修企画を通じた担当者のスキルアップを図る、次年度も継続した質の向上が課題。

→法人が成すべき現状の課題分析、職員個々の人材育成(新任育成)の目標を見出す。

5. 介護職の「キャリア形成促進プロセス」の構築 ※スーパービジョン機能発揮(管理・教育・支持)

- ☐ 「準備」アプローチ(土台醸成・基礎知識・実践経験の獲得支援)
- ☐ 「入口」アプローチ(受講目的・具体的な達成目標の確認)
- ☐ 「出口」アプローチ(受講目的・目標達成度の確認、「学び→行動→気づき」の場の提供)
- ☐ 「フォローアップ」アプローチ(知識・実践経験の積立支援)

→研修が求められる環境の構築には、次年度も継続したスーパービジョン機能発揮は課題。

6. 研修体系の効果的・計画的な運用(PDCA)

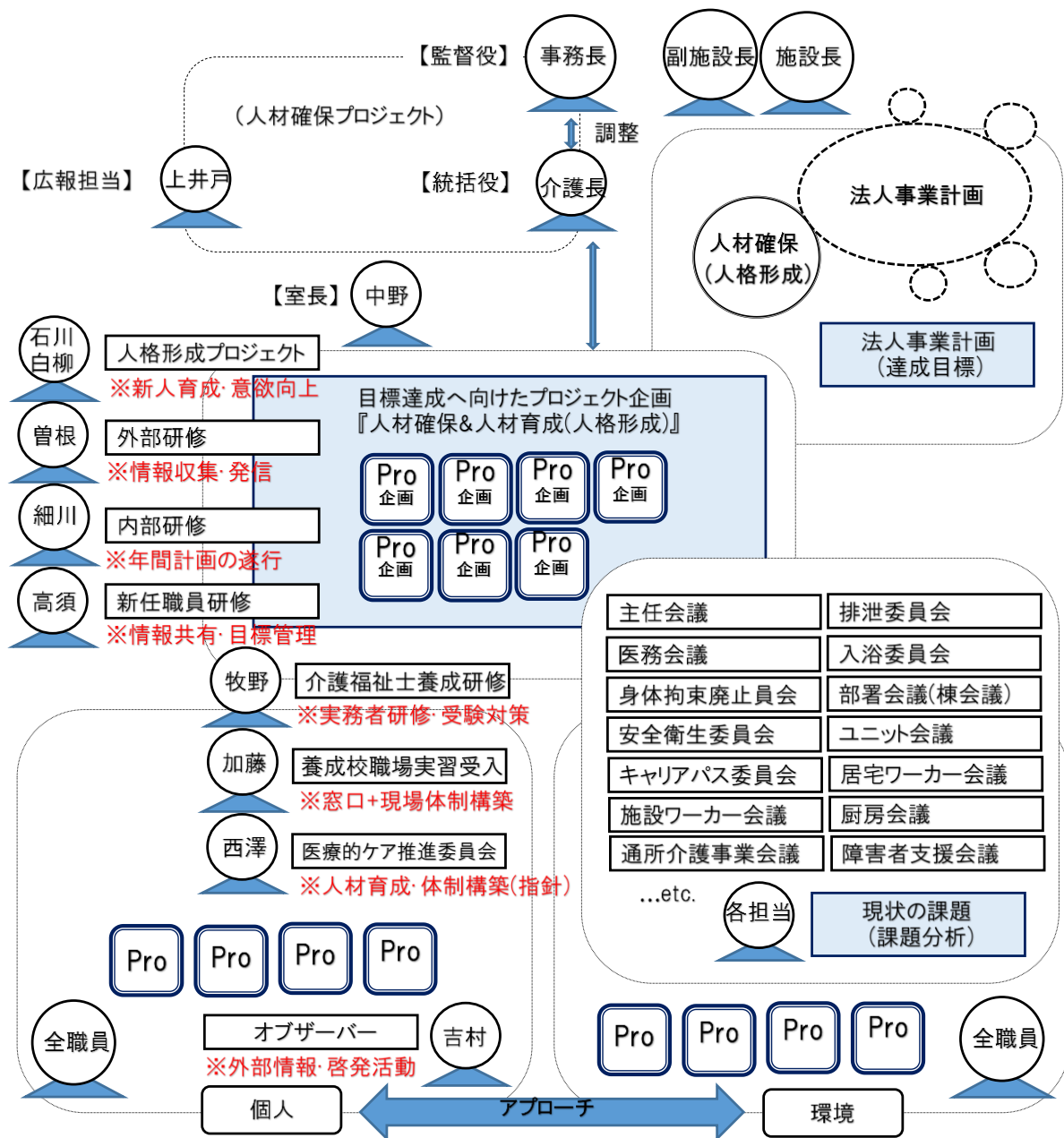
- ☐ 研修管理室定例会開催(毎月第一水曜日 17:00-18:00)
- ☐ マニュアルの更新(随時更新・定期更新)

○ 『人材確保&人材育成(人格形成)』を目的とした『研修管理室体系』の再構築を図る

1. 法人事業計画に基づく『人材育成(人格形成)プログラム』の企画・実施

- ☐ 介護長を研修管理室の『統括』に置き、事務長が研修管理室を『監督』する。
- ☐ 研修管理室委員は『各プロジェクト毎の統括』を担い、プロジェクトを推進する(担当制)。
- ☐ プロジェクト推進においては、各部署と連携を図り、全職員周知の下、全職員で推進していく。

2. 令和5年度研修管理室体系(概要)



○ 関係部署・機関との連携

1. 研修管理室と各部署、委員会、プロジェクト活動チームとの協働

- 現状分析(課題分析)・・・『人材確保&人材育成(人格形成)』をテーマに課題を抽出。
- 連携・協働の渦を発動させる(スーパービジョン)・・・関係者をプレイヤーにする(巻き込む)。
→各プロジェクトは体制を成す、ゴール(到達目標)が明確でない状況の中、連携は難しい状況。

2. 外部機関との連携と各種制度の活用

- 社会資源の活用(人材開発に資する各種制度・研修等の活用)
- 関係機関との連携(情報収集・選択・活用能力/ネットワーク開発・構築・活用能力)
→コロナ渦の中、社会不安は高まり、困惑する中での新しい研修体制を模索する状況。

『内部研修』（令和5年度）

No.	研修名	研修開催月												研修担当者	備考	研修区分
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
1	身体拘束等の適正化の為の研修 (虐待防止に関する研修含む)									●				曾根 高須	・指針に基づく研修企画 ・定期研修(2回/年)・新任研修(1回)以上	必須
2													●			
3	感染症及び食中毒の予防蔓延防止の為の研修									●				岩崎 都築	・指針に基づく研修企画 ・定期研修(2回/年)・新任研修(1回)以上	必須
4		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△			
5	事故発生の防止の為の研修								●					白柳 石川	・指針に基づく研修企画 ・定期研修(2回/年)・新任研修(1回)以上	必須
6												●				
7	虐待防止に関する研修				●									西澤	・指針に基づく研修企画 ・定期研修(1回/年)・新任研修(1回)以上	必須
7	BCPに関する研修(自然)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	事務長	・事業継続計画(BCP)に関する研修(自然)	必須
8	BCPに関する研修(感染症)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	吉村	・事業継続計画(BCP)に関する研修(感染症)	必須
9	認知症に関する研修会					●								鈴木	・認知症に関する研修	必須
10	非常災害に関する研修(防災訓練)							●						牧野	・防災に関する研修 ・令和3年度実施すべき必須研修	必須
11	緊急時対応研修				●									牧野	・心肺蘇生術の習得(AED) ・現場で実践できる技術の習得	必須 (例年)
12	新任職員研修	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	高須 白柳	・人材確保から育成(使命・重要) ・初任者研修との併用検討(OFF-JT)	必須 (例年)

・通年研修

No.	研修名	研修開催月												研修担当者	備考	研修区分
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
13	介護福祉士国家試験対策研修									●				介護長	・介護福祉士国家試験に関する研修 ・令和3年度国家試験受験者対象	ニーズ 研修
14	喀痰吸引等研修 (第2号研修)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	西澤	・喀痰吸引等資格取得に関する研修 ・第2号研修受講者対象	ニーズ 研修
15	喀痰吸引等研修 (介護福祉士※医療ケア修了者)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	西澤	・喀痰吸引等資格取得に関する研修 ・介護福祉士医療ケア修了者対象	ニーズ 研修

外部研修実績記録表(令和5年度)

NO	研修名	主催者	研修日	受講決定者	区分	費用
1	令和5年度「認知症介護実践研修」	静岡県社会福祉協議会	6/21.7/4.7/21,8/3, 9/22	細川雅登	キャリア パス	個人
2	褥瘡予防の基本	静岡県社会福祉人材センター	5月12日(金)	加藤匡彦 新見暢子	通常	施設
3	接遇・マナー・コミュニケーション講座	静岡県社会福祉人材センター	5月19日(金)	寺沼正裕	通常	施設
4	食中毒予防のための衛生講習会	静岡県給食協会	6月16日(金)	狩野尋美	通常	Web
5	おむつを外す為の排泄ケアセミナー	静岡県社会福祉人材センター	7月7日(金)	野田佐世子	通常	施設
6	共感を得る「ことば」講座	静岡県社会福祉人材センター	8月29日(火)	西澤敬一	通常	施設
7	安全運転管理者等講習	静岡県公安委員会	8月25日(金)	山元國靖	通常	施設
8	静岡県高齢者福祉研究大会	静岡県老人福祉施設協議会	9月21日(木)	上井戸真実	通常	施設
9	福祉・介護施設向け感染症対策研修	静岡県健康福祉部	10月11日(水)	吉村幸二	通常	施設
10	高齢者権利擁護等推進事業看護実務者研修	静岡看護協会	12/8・9	折山瞳	通常	施設
11	令和5年度「認知症介護実践研修」	静岡県介護福祉士会	10/16・10/30・ 11/20・12/4・ 1/15	高橋亜矢乃	キャリア パス	個人

10. 防災

<10月25日 防災訓練 実施>

※ インフルエンザの感染が拡大しつつあった為、「安否確認」を中心とした訓練としました。

<今後の課題>

防災・救護・救出・救命・応急手当の技術の向上について再訓練・教養の実施し更なる向上を図る。

11. 地域への貢献

- ① 中藁科地区社協と共同にて、移動支援サービス（買い物ツアー）に毎月1回～2回 施設車両2台を 貸し出す。



- ② 例年通り街道清掃
・水見色街道清掃



12. 広報

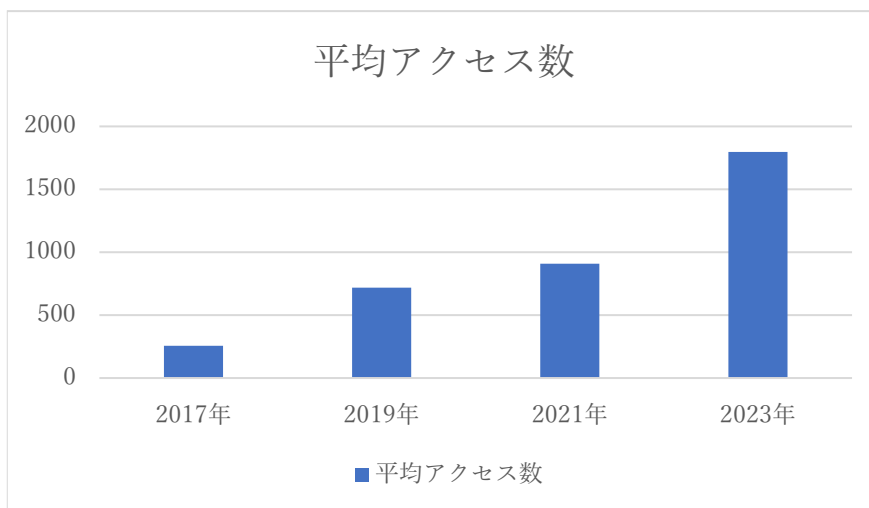
R5.4月～R6.3 事業報告（広報活動）

地域に根付き地域に貢献できる法人を目指し、わらしな福祉会りんどうの知名度を上げること、りんどうでの取り組みや地域を知って頂くこと。を目的に広報活動を継続して行ってきました。また、広報活動を通じて「知って頂く」プラス「魅力を伝える」ことで「りんどうに入りたい」利用者様を増やすこと、「りんどうで働きたい」職員獲得にも重点を置いています。

R5.12月 りんどうオリジナルカレンダー制作と配布

毎月定期発行 広報紙オクリんどう（ご家族・居宅介護事業所へ配布）

わらしな福祉会ホームページ 2017年3月より HP 運用開始



・閲覧デバイス

スマホ 40 : PC60

・トップページからの ページ別アクセス数

① 募集要項

② 行事紹介

③ 特養りんどう

・ホームページへの問合せ

入所相談 5 件

クレーム 2 件

慰問のお礼 1 件

わらしな福祉会 SNS、HP

Facebook 2017 年 4 月より開始 instagram 2018 年 7 月より開始

ホームページや SNS でりんどうでの生活の様子や取り組みをわかりやすく提供すること、リアルタイムで更新することに努めてきました。

SNS を通じて他施設との交流もでき、情報交換のツールにもなってます。

また、入所相談に関しては、従来電話やケアマネからの紹介での申し込みでしたがここ数年はご家族自らホームページを見て相談や申し込みをされるケースが増えてきました。その点でホームページの問い合わせ欄が気軽に相談できる方法として確立してきています。

2024年版カレンダー



りんどう Facebook



りんどう Instagram



Instagram や Facebook では日々の楽しい様子をリアルタイムでお伝えしています。

ご家族様も見て下っているおかげで Instagram のフォロワーは3000人近くまで増えました。



長年地域の方たちに支えられてきた施設でもあるため、【地域】の情報発信にも力を入れております。

「社会福祉法人わらしな福祉会 令和 5 年度事業報告」には、
社会福祉法第 45 条の 27 第 2 項に定める附属明細書については、
事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので、作成し
ない。

社会福祉法人わらしな福祉会 令和 5 年度 事業報告書